

平成29年 9月生まれ

おめでとう1さい

応募方法

誕生日の3カ月前の1カ月間、電話または市ホームページで受け付けています。
(例)誕生日が平成29年12月の人は、9月に応募してください。
経営企画課広報係
☎(921)2121(内線514)
URL <http://www.city.dazaifu.lg.jp/admin/soshiki/somu/204/379/575/10459.html>



16日 古賀 美柚ちゃん



20日 宮添 玲良ちゃん



22日 青木 楓果ちゃん



25日 濱口 蒼真ちゃん



1日 高原 栄太ちゃん



5日 音成 咲柚屈ちゃん



25日 稲葉 圭吾ちゃん



15日 西山 隼人ちゃん



25日 米森 弥都ちゃん



8日 後藤 悠太ちゃん



26日 海老原 幸穂ちゃん



1日 方谷 美月ちゃん

にこにこ通信



メディアとのつきあいかた



ここでのメディアとは、テレビ、DVD、ゲーム、パソコン、スマートフォンなどの電子機器のことを指します。

現在は情報技術の発達により、電子機器を手軽に家庭で使用することができますが、日本小児科医会から「2歳まではできるだけ見せないようにしましょう」という提言があるのをご存じですか？

大人が使用していて楽しいから子どもにも使わせるのではなく、子どもに与える影響を考えましょう。長時間テレビなどを見せると、子どもは動かなくなったり、自分で遊びを作り出さなくなって親に依存したり、友だちと遊ばなくなりコミュニケーションが取りにくくなったりします。子どもがテレビなどを長時間見ている様子は集中力があるように見えますが、テレビなどの強い刺激がないといろいろなことに関心を持たなくなり、逆に活動に集中力がなくなっていきます。お父さんお母さんが何気なく見ている番組も、実は子どもは見えないようでちらちら見たり聞いたりしています。必要がないときは、テレビを消すことを心がけてください。

ただし、全くテレビを見せないということは情報社会の現代ではなかなか難しいと思います。メディアを見せるときは時間を決めたり、見せる時間帯を考えたりしましょう。食事中や子どもが集中して遊んでいるときはテレビなどを消し、家族の会話やだんらんの時間にしてコミュニケーションを取っていきましょう。

以前もお伝えしましたが、スマートフォンは手軽に見ることができるので、子どもに見せると依存性が高くなる恐れがあります。特に幼児期の赤ちゃんには必要がないので、なるべく見せないようにしてください。子どもは大人が使っているものにとっても興味を示すので、子どもの前ではなるべく使用しないようにしましょう。

今、メディアに触れる時間が多い子どもは、突然全く見せないようにしてしまうと、大人があきらめるまでぐずります。極端に減らすのではなく、少しずつ時間を減らしていく方法がおすすめです。毎日2時間触れているのであれば、1日1時間半にし、それができるようになったら1時間、というように少しずつ減らしていきましょう。

元気づくり課 子育て支援センター
☎(919)6001